S-Stage KIT 取扱説明書

ノーマル５０ｃｃのシリンダーヘッドを使用したままで８８ｃｃにボアアップが出来、ＨＥＡＶＹなエンジンフィーリングが体験出来るキットをＮＥＷリリース。プラモデル感覚でＥＡＳＹに組み上げて、楽しみながらエンジン構造の勉強が出来るストリートユースキットに仕上げました。

商品番号　０１－０５－５０４Ｈ E-KIT
適合車種　JINCHENG GROUP 製　金童 JC50Q

・このたびは、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願いいたします。
・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

⚠使用燃料についてのご注意⚠

ＳステージＫＩＴは､ノーマルに比べて高圧縮比となるように設定しておりますので､燃料は必ずハイオクタン価ガソリンを使用して下さい｡レギュラーガソリンを使用すると､異常燃焼を起こして本来の性能を発揮しない上に､ピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります｡ＫＩＴ取り付け前に燃料タンクに残っていたガソリンにも注意して下さい｡レギュラーガソリンが残っている場合は､必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

⚠スパークプラグについてのご注意⚠

スパークプラグは必ずＣＲ８ＨＳＡ（ＮＧＫ）または、Ｕ２４ＦＳＲ－Ｕ（ＤＥＮＳＯ）に交換して下さい。尚、抵抗無しプラグの場合はＣ８ＨＳＡ（ＮＧＫ）または、Ｕ２４ＦＳ－Ｕ（ＤＥＮＳＯ）に交換して下さい。スパークプラグ電極部の焼け具合により個々に合った番数を決定して下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。
◎この製品を取り付け、原付免許、原付登録のまま一般公道を走行されると違反となり、運転者ご本人が罰せられる対象となります。一般公道を走行される場合は、小型２輪以上の免許を取得し、必ず市町村の役所で原付２種の登録を行い、強制賠償保険の排気量アップの申請を行って下さい。
◎この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
◎商品を加工等された場合や取り付けされた場合は、保証の対象にはなりません。
◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
◎当製品は、上記適応車種の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
◎取り付けの際には、下記記述の工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。
◎ボルト、ナット、ノックピンは再使用しますが、摩耗、損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。
◎ノーマルキャブレターを装着される方は、エアクリーナーボックスおよび、エアクリーナーエレメントは取り外さないで下さい。キャブレターを交換される方は、個々に合ったセッティングを行って下さい。この事柄を無視した場合、エンジントラブルが起こり、重大な事故につながる恐れがあります。
◎燃料は必ず無鉛ハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。

⚠注意　この表示を無視した取り扱いをすると人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的傷害の発生が想定される内容を示しています。

・一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。
（法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。）
・作業を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行って下さい。（火傷の原因となります。）
・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。（ケガの原因となります。）
・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。
（部品の脱落の原因となります。）
・ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

⚠警告　この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡したり、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

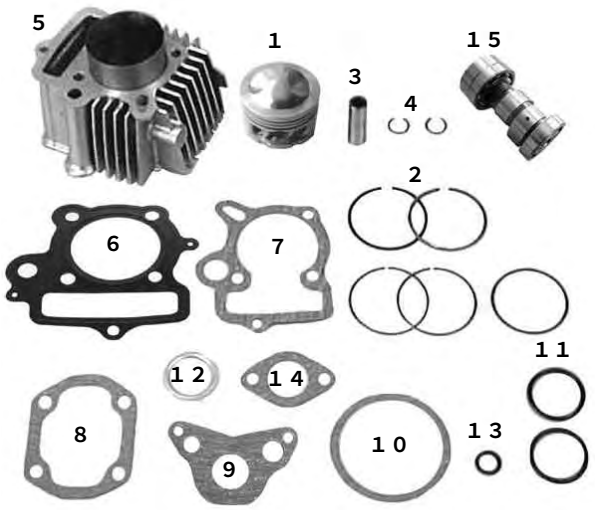
・エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
・作業を行う際は、水平な場所で車両を確実に安定させ、安全に作業を行って下さい。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかれば、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。
（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）
・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行って下さい。

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。
◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後１ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
◎この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

Lesson

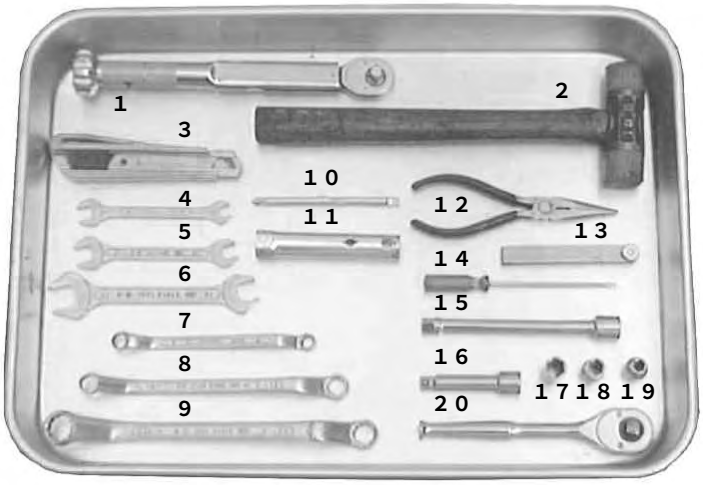
◇ボルトとナットは反時計方向へ回すと緩み、時計方向へ回すと締まる。
◇ネジを締める場合は最初から工具を使用せず指で締まるところまで締めましょう。１～２回転でとまる場合は、ネジが斜めに入っている場合がありますので注意して下さい。
◇ネジを緩めるということは、締まっている状態から左へ３～４回転回すことをいい、取り外すということは左へネジが取れるまで回すことをいう。
◇ネジを締めるということは、ネジが緩まないようにする事を締めるといいます。その目安をボルトごとに折れない・緩まない数値で表したのが締め付けトルクです。この説明書ではＰＬ法（製造物責任法）によりトルクを記載していますが、トルクレンチを用意することの出来ない人は折れない・緩まない力で締められるのであれば試してみて下さい。但し、当社では責任は負いません。トルクレンチが無くてもどれぐらいの力で締めると折れるのか・緩むのかは自分自身の経験と勘でしか補えません。
◇工具を正しく使用しない場合、ボルト・ネジ等のかかり部分が破損する場合があります。

◇キット内容



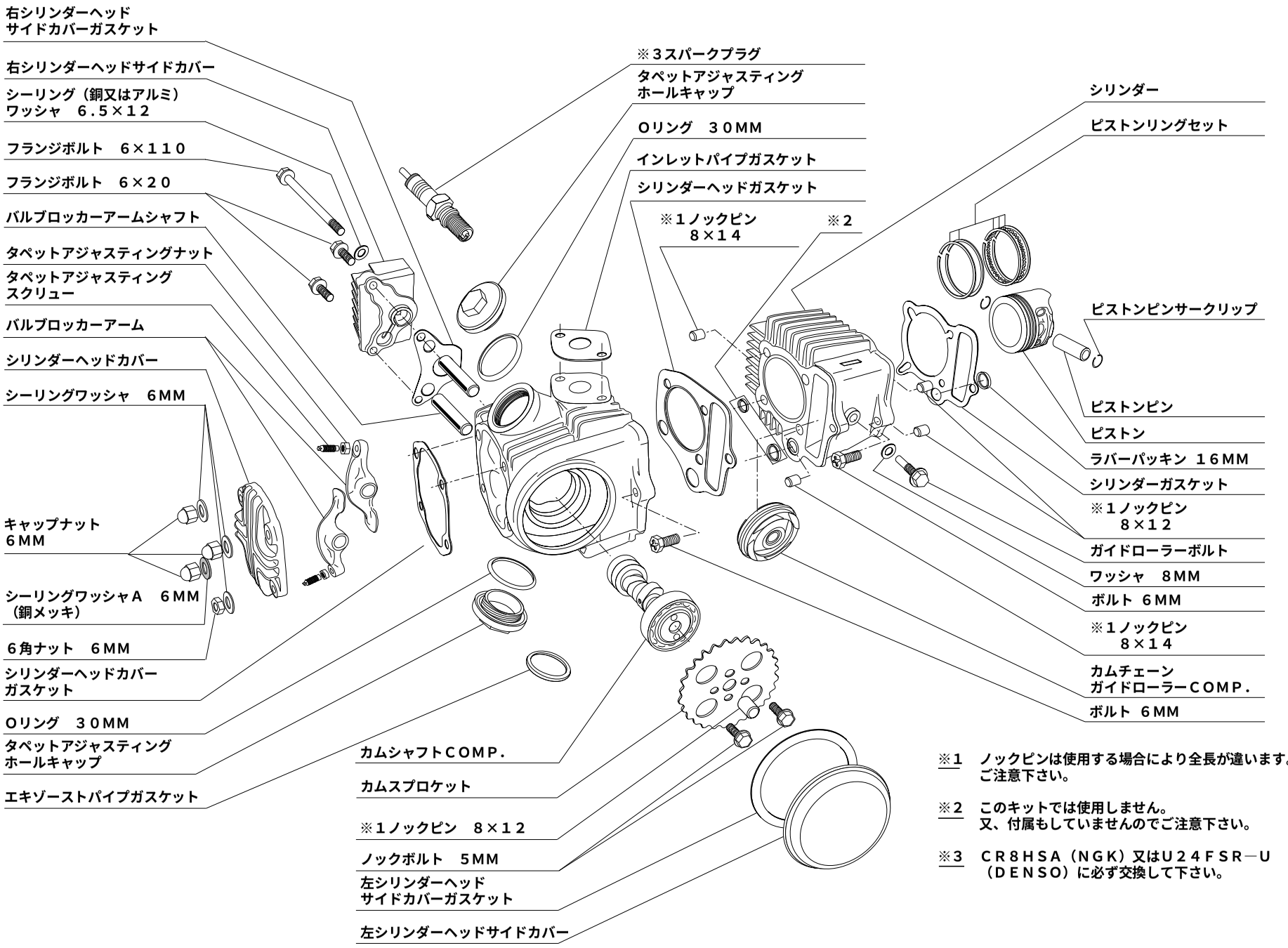
番号	部　品　名	個数
1	ピストン	1
2	ピストンリング	1set
3	ピストンピン	1
4	ピストンサークリップ	2
5	シリンダー	1
6	シリンダーヘッドガスケット	1
7	シリンダーガスケット	1
8	シリンダーヘッドカバーガスケット	1
9	右シリンダーヘッドサイドカバーガスケット	1
10	左シリンダーヘッドサイドカバーガスケット	1
11	タペットキャップOリング	2
12	エキゾーストパイプガスケット	1
13	ラバーパッキン（ブラック）	1
14	インレットパイプガスケット	1
15	カムシャフト	1

◇取り付けに使用する工具等



1	トルクレンチ
2	プラスチックハンマー
3	カッターナイフ
4	スパナ　１０―１２
5	スパナ　１２―１４
6	スパナ　１４―１７
7	メガネレンチ　１０―１２
8	メガネレンチ　１２―１４
9	メガネレンチ　１４―１７
10	プラグレンチハンドル（車載工具）
11	プラグレンチ（車載工具）
12	ラジオペンチ
13	シックネスゲージ
14	マイナスドライバー（極細先）
15	ジョイント（中）
16	ジョイント（小）
17	ボックスレンチ　１４mm
18	ボックスレンチ　１２mm
19	ボックスレンチ　１０mm
20	ラチェットレンチ

各部品名称



※１　ノックピンは使用する場合により全長が違います。
ご注意下さい。

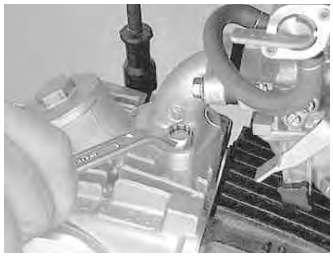
※２　このキットでは使用しません。
又、付属もしていませんのでご注意下さい。

※３　ＣＲ８ＨＳＡ（ＮＧＫ）又はＵ２４ＦＳＲ－Ｕ
（ＤＥＮＳＯ）に必ず交換して下さい。

ＳＴＤ部品取り外し

１．キャブレターを取り外す。

◇ガソリンタンク左下部にあるガソリンコックをＯＦＦにする。



◇シリンダーヘッドとインレットパイプを止めているボルト２本を反時計方向に回し取り外す。
使用工具
８mmメガネレンチ

◇エアクリーナーステー部のボルトを反時計方向に回し取り外す。
使用工具
１０mmボックスレンチ＆中ロングジョイント

◇フューエルホースを取り外す。

◇ドレンホースを外す。
◇スロットルケーブルを取り付けたままキャブレターＡＳＳＹを車体から離し左前方のウインカーに引っかけておく。

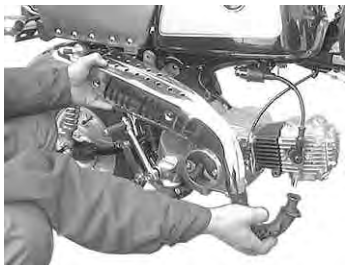
２．マフラーを取り外す。

◇ＥＸパイプ部のナット２個を反時計方向に回し取り外す。
使用工具
１０mmスパナ

◇マフラー本体を止めている６角ボルトを反時計方向に回し取り外す。
使用工具
１２mmボックスレンチ＆中ロングジョイント

◇マフラー本体裏側に止まっているナットを反時計方向に回し取り外す。
使用工具
１０mmボックスレンチ＆中ロングジョイント

◇外側に引く様にしてマフラーを車体から取り外す。

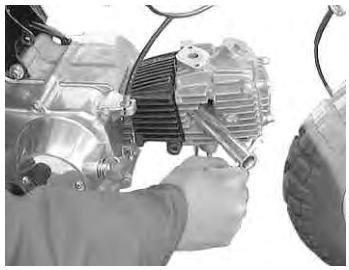


３．フロントフェンダーを取り外す。

◇フロントフェンダー裏側の６角ボルト２本を反時計方向に回し取り外す。
使用工具
１０mmボックスレンチ＆ショートジョイント

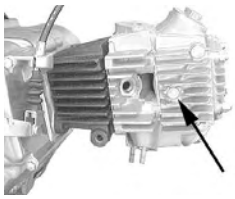
４．スパークプラグを取り外す。

◇プラグキャップをプラグから引っ張って取り外す。必ずキャップ部分をつかんで引っ張って外して下さい。



◇車載工具のプラグレンチを使いプラグを反時計方向に回し取り外す。

５．シリンダーヘッド左カバーを取り外す。



◇シリンダーヘッド右カバーの真ん中の６角ボルトを外すと左カバーが外れる。（ボルトを外しても外れない場合六角ボルトを２～３山ねじ込み６角ボルトの頭をハンマー等で軽くたたくと外れる）
使用工具
１０mmボックスレンチ

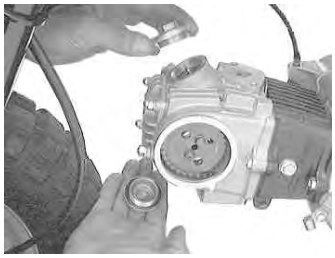
６．クランクケース左カバー取り外す。

◇シフトペダルの６角ボルトを外しシフトペダルを反時計方向に回し取り外す。
使用工具
１０mmメガネレンチ

８mmスパナ使用

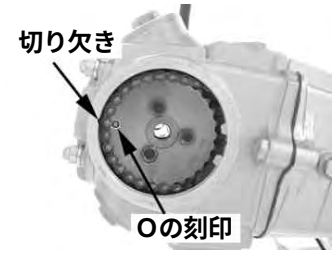
◇クランクケース左カバーを止めているボルト２本を反時計方向に回し取り外す。
使用工具
８mmスパナ
８mmボックスレンチ＆ショートジョイント

７．タペットキャップ２個を取り外す。

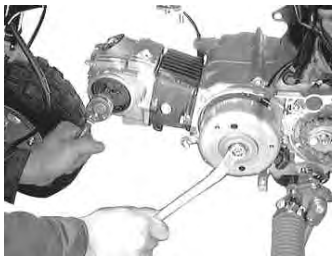


◇タペットキャップ２個を反時計方向に回し取り外す。
使用工具
１７mmメガネレンチ

８．カムスプロケットを取り外す。



◇フライホイールのＴマークとカムスプロケットのＯマークが各切り欠きに合う様にフライホイールを反時計方向に回転させて合わせる。



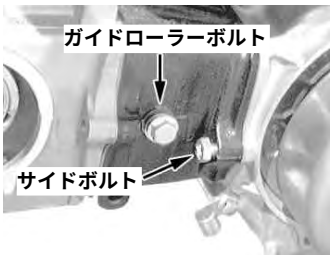
◇フライホイールを固定しカムスプロケット６角ボルト２個を反時計方向に回し取り外す。
使用工具
８mmボックスレンチ
１４mmメガネレンチ（フライホイール固定用）

◇カムプロケットを小型のマイナスドライバー等でこじてカムシャフトから外す。

◇カムチェーンをカムスプロケットから外してカムスプロケットを取り出す。

９．シリンダーヘッドサイドボルトを取り外す。

◇シリンダーヘッドとシリンダーを止めているシリンダーヘッドサイドボルトを反時計方向に回し取り外す。
使用工具
１０mmスパナレンチ



◇シリンダーのガイドローラーボルトとシリンダーとクランクケース間のサイドボルトを反時計方向に回し緩める。
使用工具
１０mmスパナレンチ＆１０mmメガネ

１０．シリンダーヘッドカバーを取り外す。

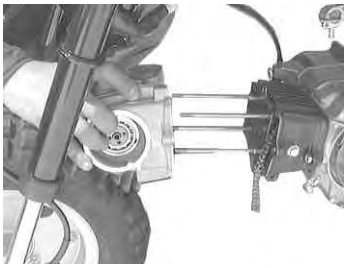
◇シリンダーヘッドカバーを止めているナット４個を対角の順番に反時計方向へ回し取り外す。
◇ナット下にあるワッシャ４枚を取り外す。
使用工具
１０mmボックスレンチ

◇ヘッドカバーを取り外す。（かたい場合はプラスチックハンマーで軽くたたき、取り外す）
シリンダーヘッドにガスケットが残った場合は、スクレーパーかカッター等できれいに取り除く。

１１．シリンダーヘッドを取り外す。

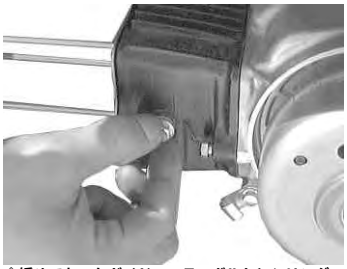
◇フロントタイヤの空気を抜く。（プラスドライバーの先などでバルブを押すとエアが抜けますのでシューという音がでなくなるまで押し続けます。）

◇シリンダーヘッドをシリンダーから前方へ引っ張って取り外す。（かたい場合はシリンダーヘッドをプラスチックハンマーで軽くたたき、取り外す）

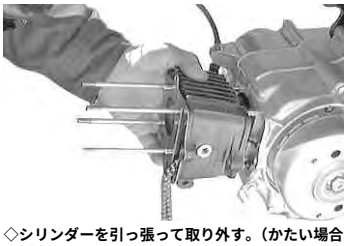


◇フロントタイヤを押しながらシリンダーヘッドを取り外す。ここでタイヤの空気を抜いた訳をご理解いただいたと思います。
◇ノックピン２個は再使用するので取り外しておく。

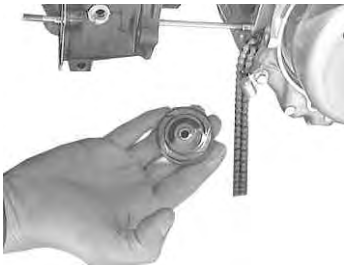
１２．シリンダーを取り外す。



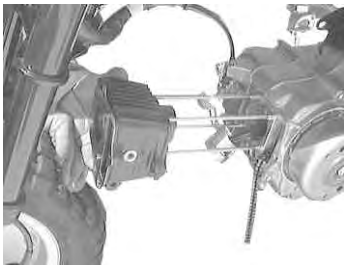
◇緩めておいたガイドローラーボルトとシリンダーサイドボルトを反時計方向に回し取り外す。



◇シリンダーを引っ張って取り外す。（かたい場合はプラスチックハンマーでシリンダーを軽くたたき、取り外す）

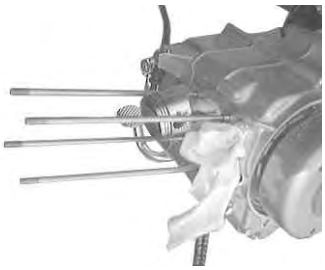


◇シリンダーを抜く途中でカムチェーンガイドローラーが出てくるので取り外す。



◇ピストンが抜けたらタイヤを手で押さえながらシリンダーを前方へ取り外す。

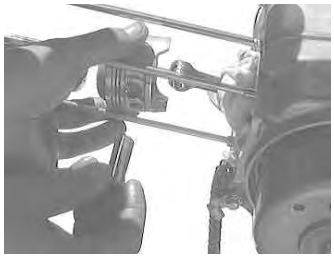
１３．ピストンを取り外す。



◇クランクケースのシリンダーホールとカムチェーン部にゴミや部品などを絶対落とさないようにウエスを詰め込む。

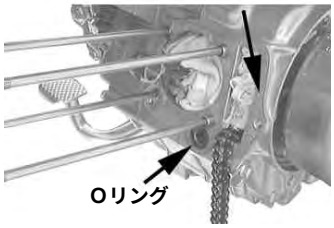
◇ピストンサークリップの片側を取り外す。
ピストンピン穴の切り欠き部を利用してこじるようにすると外れます。
使用工具
先の細いマイナスドライバー

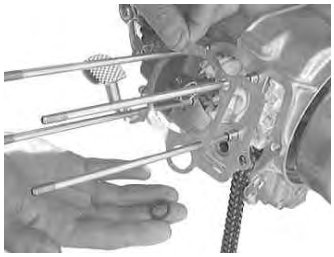
◇ピストンピンをピストンサークリップが付いていない方向へ取り外す。ピストンサークリップの付いている方向からマイナスドライバーで押してあげると簡単にとれます。



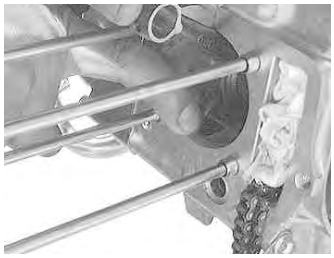
◇ピストンを取り外す。

１４．シリンダーガスケット・Oリング・ノックピンを取り外す。





◇ガスケットがきれいにはがれない場合クランクケースにキズを入れないようにスクレイパーやカッターできれいにはがす。この時クランクケースセンターガスケットがシリンダーベース面やシリンダーホール部にはみ出ている場合は切り取っておく。
クランクケース内にゴミや部品などを絶対落とさないように。



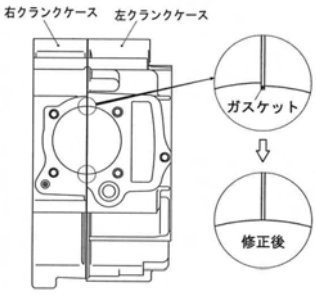
◇上写真の指さし部にはみ出ているガスケットがあれば切り取っておく。

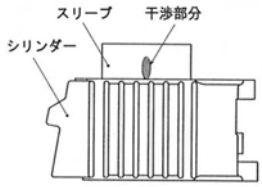
アルミシリンダー取り付け時の注意

左右クランクケースのズレ等により、シリンダーを取り付ける際、クランクケース合わせ面のスリーブ穴、丸印部分とシリンダースリーブの斜線部分及びケース内部で、干渉する場合があります。そのままの状態で使用するとスリーブが変形しエンジントラブルの原因となりますので必ず点検、修正して下さい。
この作業は難易度は高いけれどチョット、プロの作業に近づいた感じはありますね。

修　正　要　領

1．クランクケース内に削り粉が入らないようにしっかりとウエスを詰める。
2．クランクケース合わせ面のズレの出っ張っている部分を引っ込んでいる部分と同じ高さになるまでヤスリで削ります。
3．削り取ったら削り粉がクランクケース内に入らないよう慎重にウエスを取り除く。
4．ウエスを取り除いた後は、きれいなウエスをクランクケースの穴に詰めておく。
5．キットの組立が終わってエンジンをアイドリングで数分かけた後、すぐにエンジンオイルを新品に交換すればＯＫ。





Ｓ－ＳｔａｇｅＫＩＴ取り付け

１．ピストンを組み付ける

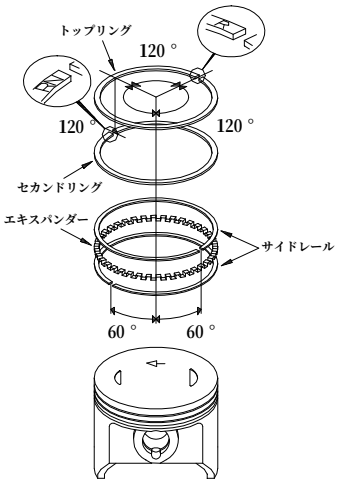
◇ピストンの片側に付属のピストンピンサークリップをサークリップ溝にきっちりはめ込む。この時、サークリップの合い口は切り欠き部を避けて取り付けて下さい。

エキゾーストマーク

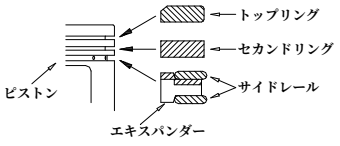
◇ドライバーでピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取り付けられます。
◇ピストンサークリップは左側を先にはめ込みます。
使用工具
先の細いマイナスドライバー

◇ピストンリングみぞにエンジンオイルを塗りピストンリングをオイルリングエキスパンダー、下オイルリングサイドレール、上オイルリングサイドレール、セカンドリング、トップリングの順に取り付ける。

◇下図を参考にして、各ピストンリングの合い口を合わせる。



トップリングの上面にはＲの刻印セカンドリングの上面にはＲＮの刻印があります。



断面に注意！！

◇オイルリングエキスパンダーを入れる。

◇下オイルリングサイドレールを入れる。

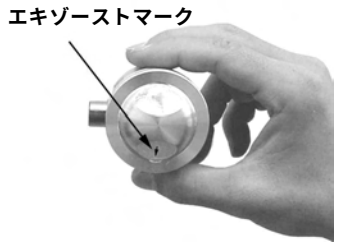
◇上オイルリングサイドレールを入れる。

◇セカンドリングを入れる。

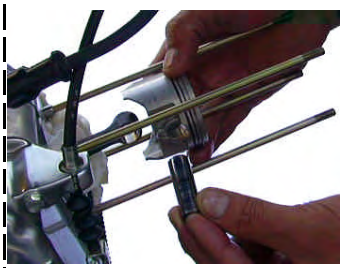
◇トップリングを入れる。

◇ピストンピン部とコンロッドにエンジンオイルを塗りピストンピンを取り付ける。

エキゾーストマーク



◇ピストンヘッド部三角マークの先を下（エキゾースト側）になるようにしてピストンを取り付ける。

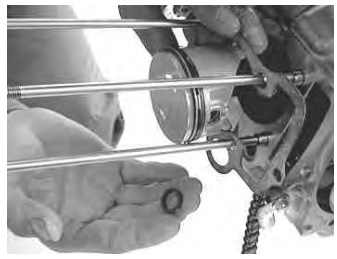


◇ピストンに三分の一程度ピストンピンを挿入しておいて取り付けるのも簡単な方法ではある。
◇付属のピストンピンサークリップをサークリップ溝にきっちりはめ込む。

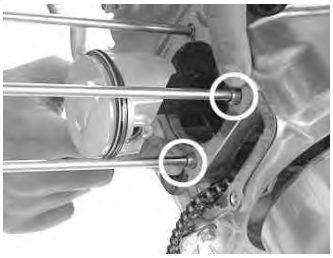
◇ドライバーでピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取り付けられます。
押し込み中にサークリップが外れて飛んでしまうことがあるので慎重に行って下さい。
目に入らぬように防護めがねなどを着用して下さい。
◇詰めていたウエスを取り外す。

２．シリンダーの取り付け

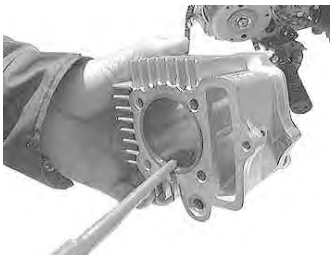
◇シリンダーガスケット面のシリンダー側とクランクケース側をシンナー等で脱脂する。



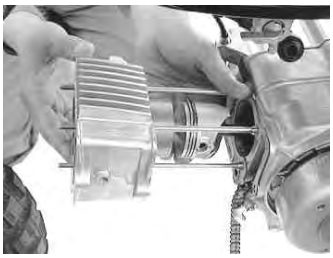
◇シリンダーガスケットとブラックのラバーパッキンを取り付ける。



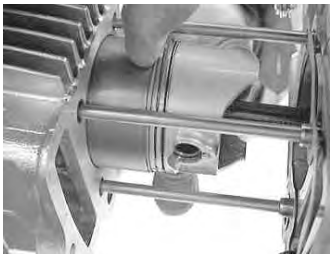
◇ノックピン２個が取り付いているか点検。



◇キットのシリンダー内にエンジンオイルを塗布し指で均等に塗り広げる。

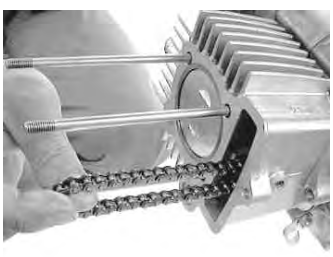


◇タイヤを押さえながらシリンダーを入れていく。

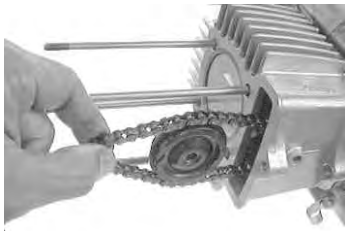


◇シリンダーをピストンリングの合い口がずれない様にしながら指で押し少しずつはめる。
ここは難易度が高いです。がんばって下さい。

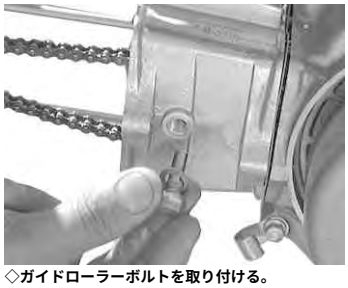
◇リングがシリンダーに入ったらカムチェーンをシリンダーに通しシリンダーをクランクケースにはめる。



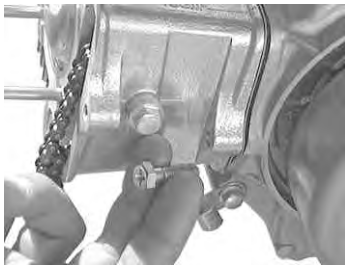
◇カムチェーンを引っ張りながらガイドローラーをつけてる。



◇シリンダーのガイドローラーボルト穴にガイドローラーのセンターが合う様に押し込む。

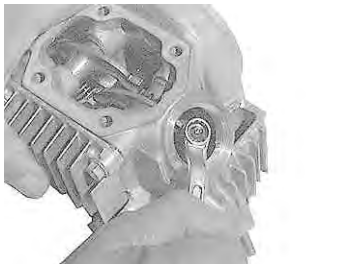


◇ガイドローラーボルトを取り付ける。
（指で閉まる程度まで仮止め）

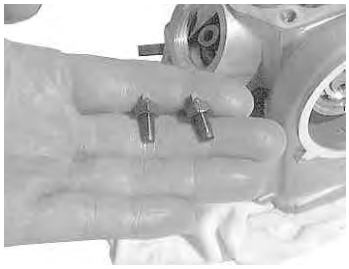


◇シリンダーサイドボルトを取り付ける。
（指でしまる程度まで仮止め）

３．カムシャフト交換



◇シリンダーヘッドに組まれているロッカーアームのタペットナットとボルトを取り外す。
タペットナットを緩めた時点でタペットボルトをナットと一緒に取り外す。
使用工具
９mmメガネレンチ



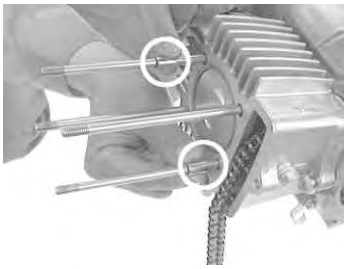
◇カムシャフトにカムスプロケットボルトを取り付け、引っ張るかプラスチックハンマーでヘッドを軽くたたくと抜けてくるので無理に引っ張らずカムシャフトを回しながら取り外す。

◇カムシャフトの摺動面とベアリングにきれいなエンジンオイルを塗布する。
◇キット内のカムシャフトを逆の手順で取り付ける。
カムシャフトが入りにくくてもハンマー等でたたかず手で入れる。

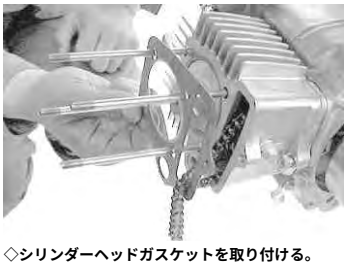
◇ロッカーアームのタペットスクリューを時計方向に回して取り付ける。

４．シリンダーヘッド取り付け。

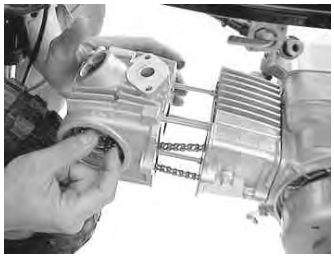
◇シリンダーヘッド面とシリンダー上面をシンナー等で脱脂する。



◇シリンダーにノックピンを取り付ける。

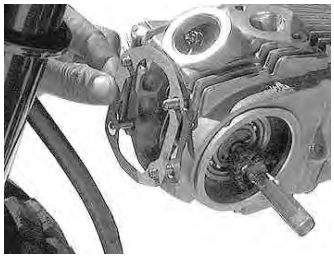


◇シリンダーヘッドガスケットを取り付ける。



◇タイヤを手で押しながらシリンダーヘッドをスタットボルトに通す。
◇シリンダーヘッドにカムチェーンを通しながら取り付ける。

◇カムチェーンはシリンダーの方に落ちない様にカムシャフトの真ん中の穴にドライバー等を入れてカムチェーンを止めておく。



◇シリンダーヘッドカバーのガスケットとヘッドカバーを取り付ける。

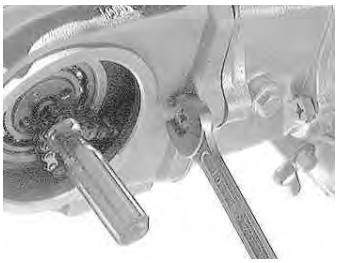
上下マークに注意

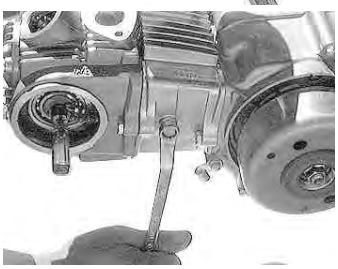
◇矢印は下の方向です。

◇ヘッドカバーのワッシャとナットを取り付ける。（エンジンを前から見て左下が銅ワッシャ残りの３つは鉄ワッシャ）

◇ヘッドナットを均等に締め付ける。
（トルクレンチがない場合は対角に少しずつしっかり締める）
使用工具
１０mmボックスレンチ
締め付けトルク１２N・m（1.2ｋｇｆ・m）

◇ヘッドサイドボルトを取り付ける。先に仮止めしていたガイドローラーボルトとシリンダーサイドボルトを締め付ける。
使用工具
１０mmスパナレンチ
１０mmメガネレンチ

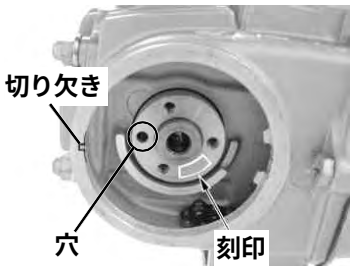




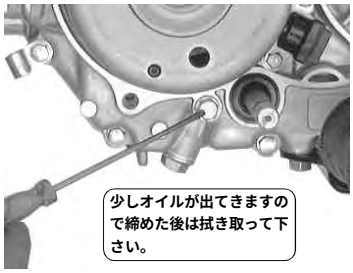
締め付けトルク
ガイドローラーボルト
１０N・m（1.0ｋｇｆ・m）サイドボルト上下
１０N・m（1.0ｋｇｆ・m）

５．カムスプロケットの取り付け

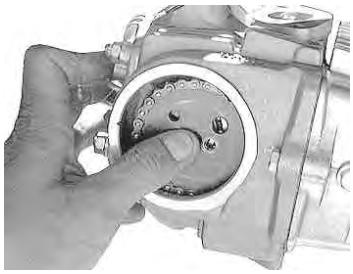
◇フライホイールのＴマークをクランクケースの切り欠き部に合わす。



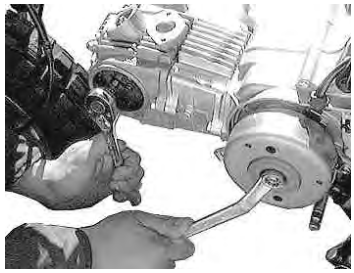
◇カムシャフトの穴をシリンダーの切り欠き方向に向け、写真のようにセットする。それがカムシャフトの圧縮上死点です。



◇チェンジペダルのシャフトの横にある６角ボルトを取り外す。カムチェーンを引っ張っているテンショナーが緩むのではめやすくなります。



ここは難易度が高いです。がんばって下さい。
◇カムスプロケットをはめた後ボルトを取り付ける。カムチェーンにカムスプロケットをかけながらカムスプロケットのＯマークとシリンダーヘッドの切りかき部が合う様にカムチェーンをはめてカムシャフトに取り付ける。

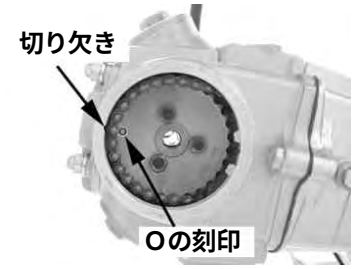


◇フライホイールを固定してカムスプロケットボルトを２本締め付ける。
使用工具
８mmボックスレンチ
１４mmメガネレンチ
締め付けトルク９N・m（0.９ｋｇｆ・m）

◇チェンジペダルシャフト横の６角ボルトを取り付けます。
使用工具　１０mmメガネレンチ
締め付けトルク１０N・m（1.0ｋｇｆ・m）

６．バルブタイミング調整とタペット調整

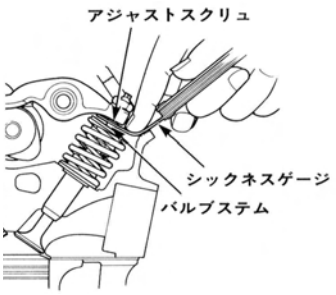
ここは難易度が高いです。がんばって下さい。

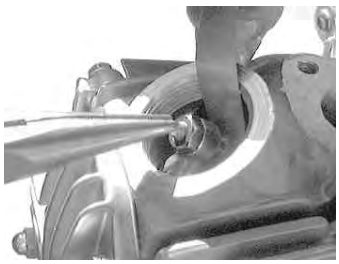


シリンダーヘッド側

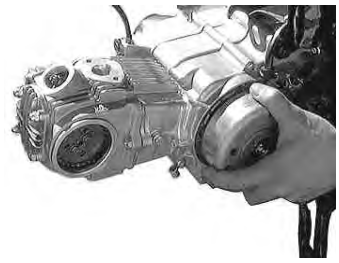
フライホイール側

◇カムシャフトのＯマークとフライホイールのＴマークがそれぞれの切りかきに合う様にして止める。磁石の反発でフライホイールはピッタリと止まらないがカムスプロケットを取り付けてＴマークとＯマークが同時に合えばＯＫ。

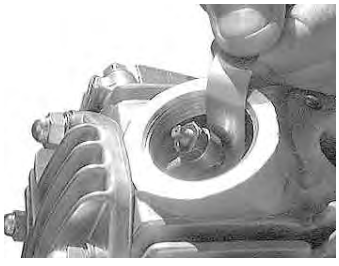




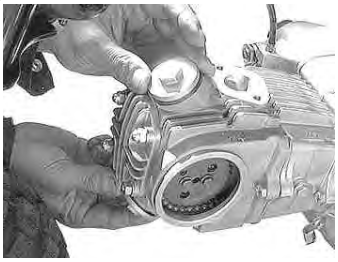
◇ロッカーアームのタペットスクリューを締め込んでいきタペットスクリューとバルブステムエンドの間に０.０５ミリのシクネスゲージを入れて少し抵抗があるくらいで引き抜ける様に合わせてタペットナットを締め付ける（少し抵抗があるというのがわからない場合０．０７と０．０３のシグネスゲージを用意して０.０７がすき間に入らず０．０３がゆるゆるに入る様に合わせればだいたい０.０５ミリということになる）ＩＮ．ＥＸ共に０．０５ミリに合わせる。
使用工具
ラジオペンチ、９mmメガネレンチ
シクネスゲージ



◇タペット調整後、反時計方向にフライホイールを２回転手で回した後でＴマークとＯマークを合わせる。



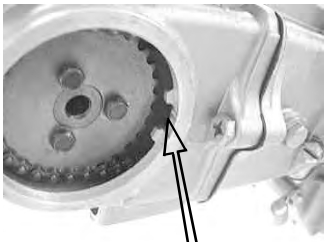
◇タペットすき間が変化していないか点検しすき間が合っていればＯＫ、くるっている場合は調整する。



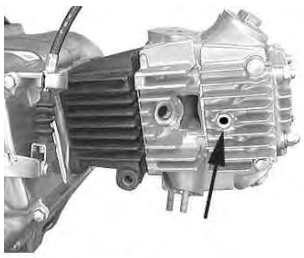
◇タペットキャップ２個を取り付ける。
使用工具
１７mmメガネレンチ
締め付けトルク１２Ｎ・m（1.2ｋｇｆ・m）

７．シリンダーヘッド左カバー取り付け。

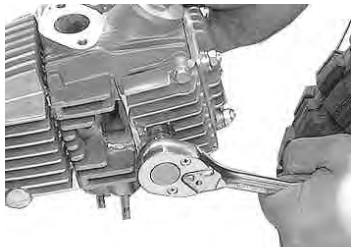
◇ガスケットを取り付ける。



◇左カバーをシリンダーヘッドに取り付ける。
（左サイドカバーがボルトを締めたときに右回りしないように回り止めを合わせる）

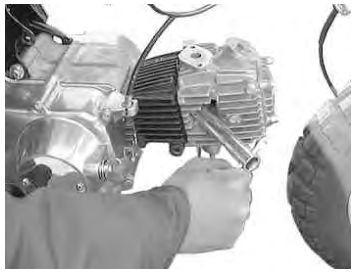


◇シーリングワッシャが付いている事を確認して６角ボルトを取り付ける。



◇６角ボルトを締める。
使用工具
１０mmボックスレンチ
締め付けトルク１２Ｎ・m（1.2ｋｇｆ・m）

８．スパークプラグの取り付け。



◇車載工具かプラグレンチを使いプラグを取り付ける。
使用工具
プラグレンチ
締め付けトルク１１Ｎ・m（1.1ｋｇｆ・m）

◇プラグキャップをプラグに取り付ける。

９．ノーマルマフラーの取り付け。

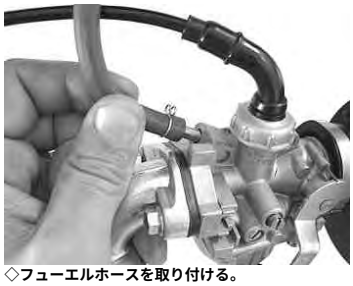
◇マフラーは、先にテールパイプをリアショックの内側を通しフランジ部分をシリンダーヘッドの排気出口付近まで持っていく。

◇ＥＸパイプ部のナット２個を締める。（仮止め）
使用工具
１０mmスパナ
締め付けトルク１０Ｎ・m（1.0ｋｇｆ・m）

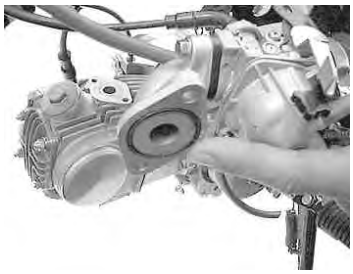
◇マフラー本体を止めている６角ボルトを取り付ける。（仮止め）
使用工具
１２mmボックスレンチ＆ロングジョイント
締め付けトルク２６.５Ｎ・m
（2.7ｋｇｆ・m）

◇仮止めの三カ所を締め付ける。

１０．ノーマルキャブレターの取り付け。



◇フューエルホースを取り付ける。



◇インレットパイプにＯリングが付いていることを確認する。

◇シリンダーヘッドとインテークマニホールドを止めているボルト２本を取り付ける。
使用工具
８mmメガネレンチ
締め付けトルク１０Ｎ・m（1.0ｋｇｆ・m）

◇エアクリーナーステー部のボルトを取り付ける。
使用工具
１０mmボックスレンチ＆ロングジョイント
締め付けトルク１０Ｎ・m（1.0ｋｇｆ・m）

◇ドレンホースを取り付ける。

◇フューエルコックをＯＮにする。

１１．クランクケース左カバーの取り付け。

８mmスパナ使用

◇クランクケース左カバーを止めているボルト２本を取り付ける。
使用工具
８mmスパナ
８mmボックスレンチ＆ショートジョイント
締め付けトルク１０Ｎ・m（1.0ｋｇｆ・m）

◇チェンジペダルを取り付ける。
使用工具
１０mmメガネレンチ
締め付けトルク１０Ｎ・m（1.0ｋｇｆ・m）

１２．フロントフェンダーを取り付ける。

◇フロントフェンダー裏側の６角ボルト２本を締めて取り付ける。
使用工具
１０mmボックスレンチ＆ショートジョイント
締め付けトルク１０Ｎ・m（1.0ｋｇｆ・m）

◇タイヤ空気を入れる。

◇エンジンから足廻りまで取り付けたボルト類に緩みがないかチェックする。

株式会社 SPECIAL PARTS 弐川
〒５８４－００６９　大阪府富田林市錦織東三丁目５番１６号
TEL　０７２１－２５－１３５７　FAX　０７２１－２４－５０５９
お問い合わせ専用ダイヤル　０７２１－２５－８８５７
URL http://www.takegawa.co.jp